

[フィリピン/セブ島] Q&A

1, 気候・服装

セブ島は1年を通して常夏の気候なので、夏服（半袖やワンピースなど）で大丈夫です。場所によりクーラーが効いていたり、肌寒い日もあるので、羽織るものや長袖があると重宝します。衣類は現地調達も可能なので滞在日数分あれば十分です。

2, 両替について

日本国内での両替よりも、フィリピン国内での両替のほうが比較的レートが良いです。空港より街なかの両替所のほうがレートが良い傾向にあります。

多額の現金を持ちながら出歩くのは危険です。そのため、現地通貨は最低限に留めておき、さまざまな場所に対応できるように複数のブランドのクレジットカードを用意しておくのがオススメです。VISA や Master Card なら、ほとんどの場所で使用できます。

3, 電圧・コンセント（プラグ）

フィリピンと日本では、コンセントの形状が同じですので（日本で普段使用している「A型プラグ」と呼ばれるもの）、変換プラグは持っていく必要はありません。海外対応製品であればそのままコンセントに挿入して使用することができます。しかし海外非対応製品の場合は、電圧（フィリピン 220V/日本 100V）が大きく違うため変圧器が必要です。スマートフォンやタブレット、パソコンなどの多くは海外使用に対応しているものが多く、変圧器がなくても充電できます。アイロンやヘアードライヤーなどの電化製品は、各種機器の取り扱い説明書や充電器などに対応電圧が記載されていますので、ご準備の際に必ずご確認下さい。

『100V-240V』と記載されていれば問題なく使用できます。

4, チップ

チップ文化はあまり浸透していませんので、必ずしも渡さなければいけないわけではありません。しかし、観光地やホテルでは。欧米からの旅行者がチップを渡すことがあります。以下は一般的な目安ですので、ご参考ください。

- ・空港で待っていてくれる現地係員：100 ペソ～200 ペソ程度
- ・ホテルのベッドメイキングやポーター：20 ペソ～50 ペソ程度

・タクシー：一般的にはタクシー料金の約10%をチップとして渡すのが目安とされています。(乗車時間や距離、渋滞により異なります。) マクタン島内の移動の場合、チップとして1回の乗車につき20ペソから50ペソ程度が一般的です。チップは必須ではありませんが、良いサービスを受けたと感じたら、渡してあげると良いでしょう。

5, ドレスコード

セブ島は比較的緩いので過剰に意識する必要はありませんが、場所に相応しい格好を選ぶのはマナーです。カジノの他、雰囲気の良いレストランやバーなどでドレスコードを求められる施設もあります。入店が断れてしまう格好は、ビーチサンダルやタンクトップ、男性の短パンなどが挙げられます。

6, タクシー初乗り (移動手段)

ジプニーやバスもありますが、乗り降りや支払いが慣れていないと難しいためタクシーをオススメします。タクシーの他に、配車アプリも便利です。高額に請求してくるタクシー運転手もいるため、メーターを回してもらってもらうように乗車時にお伝えください。

7, 物価について

お食事1回の平均予算 (昼食：約500ペソ、夕食：約1,000ペソ)

ミネラルウォーター500ml：約25ペソ

ドライマンゴー1袋：約120ペソ~250ペソ

カフェでのコーヒー1杯：約180ペソ~300ペソ

上記の金額は一般的な物価を表していますが、ホテルでのお飲みものや飲食は通常、それよりも高額になりますので、その点をご考慮いただければと思います。

8, 入国に際して (Visa や特別な対応が必要であれば)

フィリピン到着の時点で、パスポートの残存有効期限が6か月以上あることが入国条件となっております。また、「**e-Travel**」が必要ですので、必ずご取得ください。(e-Travel は[こちら](#)からご登録 (無料) いただけます。)

9, その国で注意が必要なこと

・フィリピンではストリートチルドレンが物乞いをしてることがあります。近づいて来ても、絶対に相手にせず、無視するようにしましょう。

- ・道路交通が混雑していることが多く、運転マナーが異なる場合があります。交通事故や渋滞に備えて時間に余裕を持って移動することをお勧めします。
- ・水や食べ物には注意が必要です。生水や屋台の食べ物は避け、ボトル水や信頼できるレストランでの食事を選びましょう。
- ・蚊に刺されることでデング熱などの感染症のリスクがあるため、虫除け対策をしっかりと行いましょう。
- ・フィリピンでは厳格な法律があり、公共の場での喫煙は罰金が科されるため、十分にご注意ください。また、選挙や特別な行事がある場合には、飲酒が禁止されることがありますので、飲酒についても注意が必要です。
- ・フィリピンの文化や習慣に配慮し、現地の人々と良好な関係を築くためのマナーを守ることが大切です。礼儀正しい態度で接し、現地の習慣や習俗を尊重しましょう。